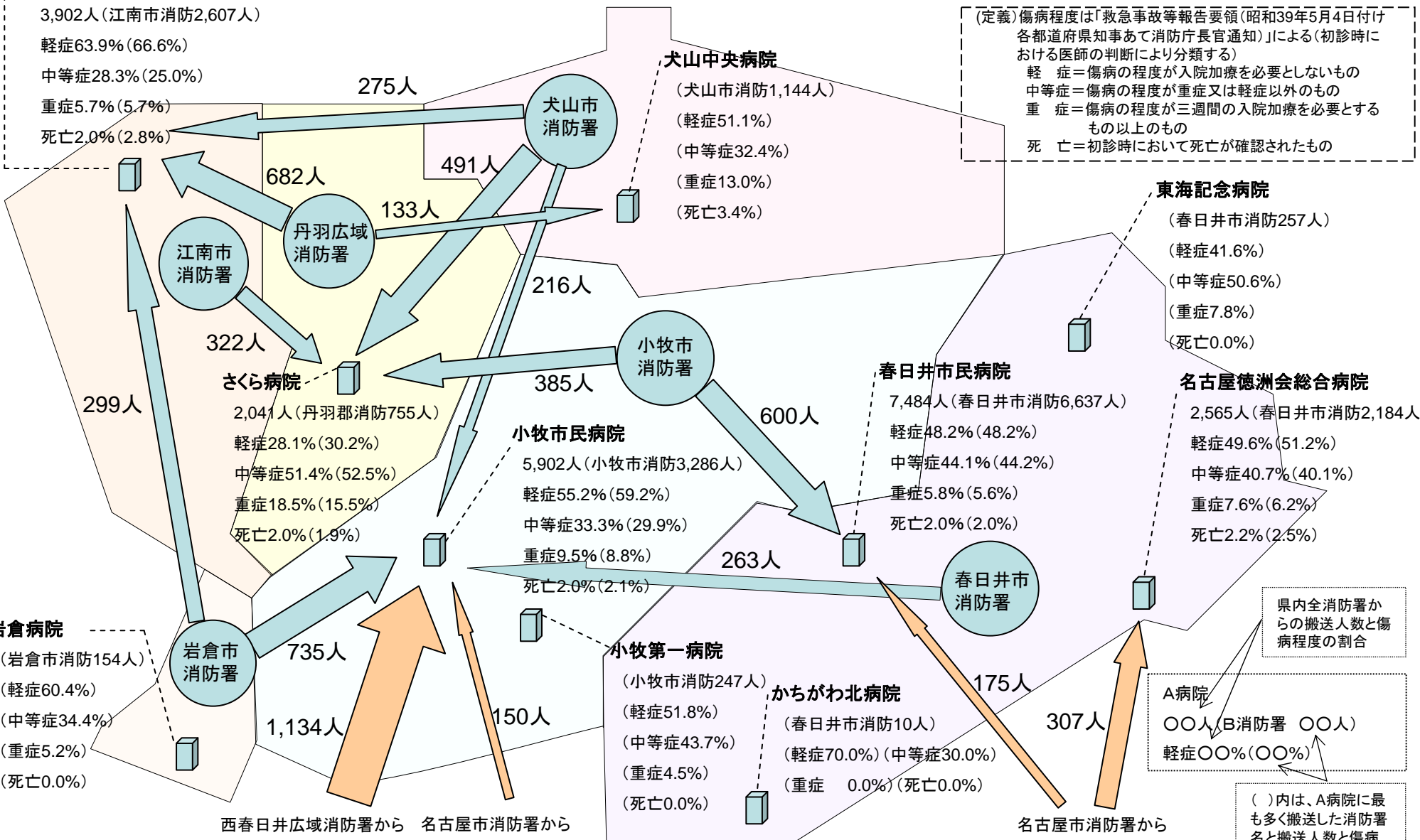
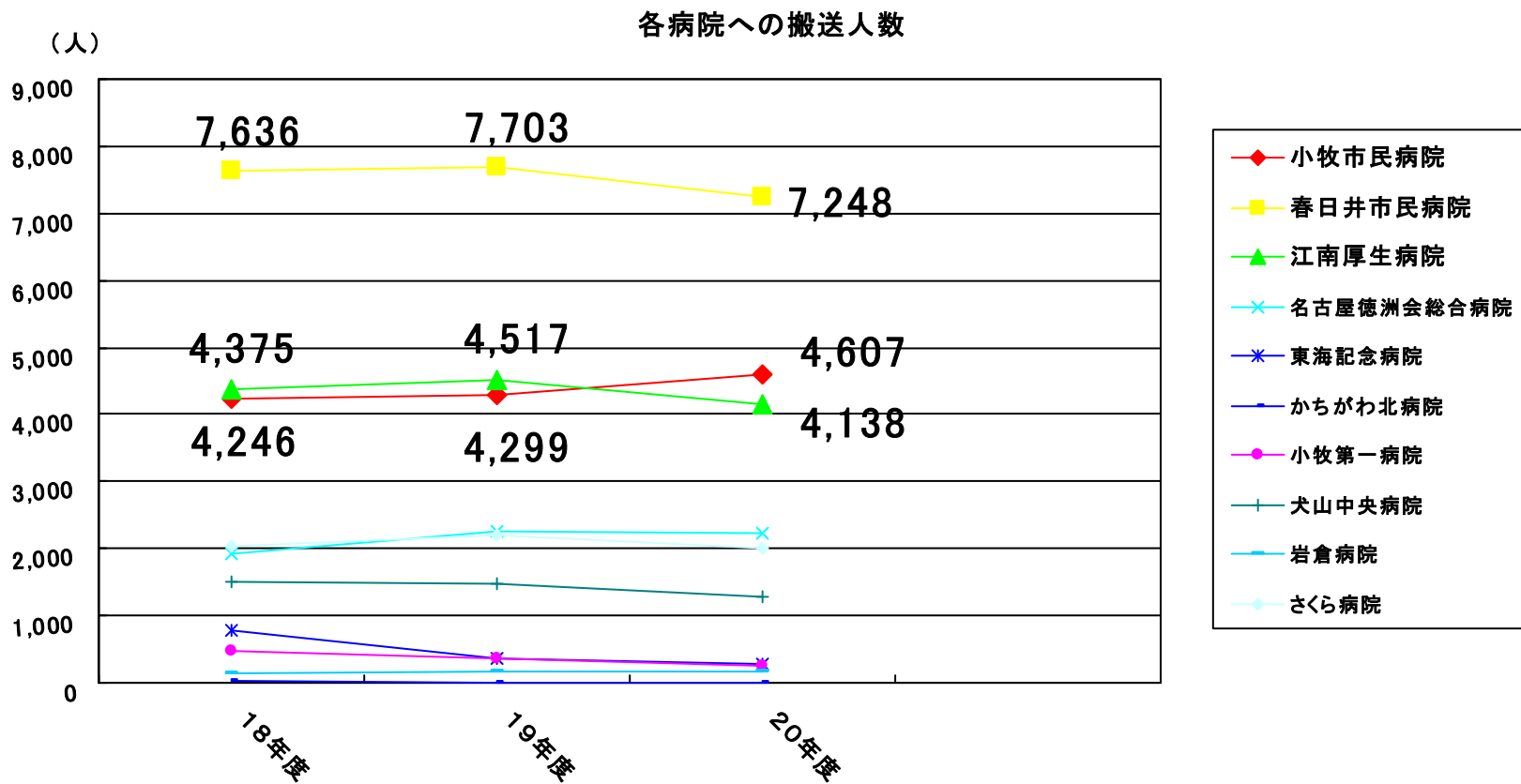


尾張北部医療圏の救急搬送の状況(H20年度)



H21.7.3付け春日井保健所調査(地域医療連携の評価指標設定のための救急搬送人数調査)より作成

医療圏内消防署の搬送人数の推移(救急病院別)



注) 江南厚生病院の18年度、19年度は昭和病院と愛北病院分を足したもの。また、20年度のうち20.4月分は昭和病院と愛北病院分が含まれる。

緊急性の高い救急医療について、有識者会議で24時間、365日対応可能であると判断された三病院を比較した際の特徴

○小牧市民病院

- ・医療圏内全域から救急患者が搬送されています。
- ・小牧市消防署からの搬送人数は全体の約6割です。
- ・尾張中部医療圏からの搬送が多く、全体の約2割を占めています。
- ・軽症者の割合が比較的高くなっています。

○春日井市民病院

- ・搬送人数は最多となっています。
- ・春日井市消防署からの搬送人数が全体の約9割です。
- ・軽症者の割合が最も低く、中等症者の割合が最も高くなっています。

○江南厚生病院（H20.5開院）

- ・搬送人数は最も少なくなっています。
- ・江南市消防署からの搬送数が約7割となっています。
- ・軽症者の割合が最も高いほか、中等症者の割合も最も低くなっています。

※緊急性の高い救急医療＝4つの疾患（心筋梗塞、脳卒中、意識障害を伴う多発性傷害、急性消化管出血）についての救急医療

傷病程度からみた前頁三病院以外の主な救急医療機関の特徴

○名古屋徳洲会総合病院

- ・軽症者の割合が約5割となっています。
- ・名古屋市消防署からの搬送も多くなっています。

○さくら病院

- ・軽症者の割合が約3割で、中等症以上の割合の方が高く、そのうちでも重症者の割合が高くなっています。

○犬山中央病院

- ・軽症者の割合は約5割である一方、重症者の割合も高くなっています。

○東海記念病院

- ・軽症者の割合は約4割で、中等症以上の割合の方が高くなっています。

○小牧第一病院

- ・軽症者の割合は約5割となっています。

○岩倉病院

- ・軽症者が約6割となっています。